

英文マップを用いた英文読解法学習教材の開発

Development of a Learning Tool for English Reading using “English Reading Map”

社会情報システム学講座 0312002112 中川智博

指導教員：市川尚 鈴木克明

1. はじめに

現在のボーダレス化社会を生きる私達にとって、英語力はもはや必要不可欠な能力となっているが、英語を苦手としている日本人は多い。神戸¹⁾は日本語と英語との性質の違いに着目し、英文をルールに基づいてマップに当てはめていく事で英文読解を支援する「英文マップ」を提案している。英文マップを実際に使用したところ、一見難しい長文もマップに当てはめる事で文の流れを掴み、後は単語の意味さえ分かれば英文を読む事が実感できた。

本研究では、英文マップをパソコン上で学習する教材を開発し、教材使用によって英文マップ作成の知識・能力が付いたかの評価を行った。

2. 英文マップ

2. 1. 「英文マップ」の特徴

神戸¹⁾は英文の基礎となる5文型をひとつのマップとして視覚化し、さらにそのマップ内に日本語の「てにをは」を書き入れた。例えば”Foreign People usually loves Japanese Culture”という英文をマップに当てはめた場合を図1に示す。英文をマップに当てはめる時に用いる4つのルールを設けることで、誰でも初見の英文を英文マップに当てはめられるようになっている。4つのルールは次の通りである。

先頭の単語に何が来ているか

を用いて英文マップ作成の練習ができる教材とし、以下に示す機能を設けた。

3. 1. 英文マップ作成教材

英文マップを自分で作成できるようになるため、その使用法やルールを学習する。全5ステップで構成され、各ステップに複数単元が存在する(図2)。単元の終わりには、その単元の習得状況を確認するための確認テストを設け(図3)、テストに合格していく事で「習得度」が上がる仕組みとした。

3. 2. 英文マップ作成ドリル

確認テストがドリル形式で出題され、英文マップ作成の練習を行う機能である。出題範囲を各ステップ毎、または全てのステップから選択でき、出題数も選択できる。ランダムに問題を出す「ランダム出題モード」と、これまでのドリル使用データから苦手な単元を割り出し重点的に練習できる「苦手克服モード」の2種類を用意した。

3. 3. 習得度参照機能

各ステップにおける英文マップ習得度を確認できる機能である。また、そこから学習したい教材やドリルへ移動する事もできるようにした。

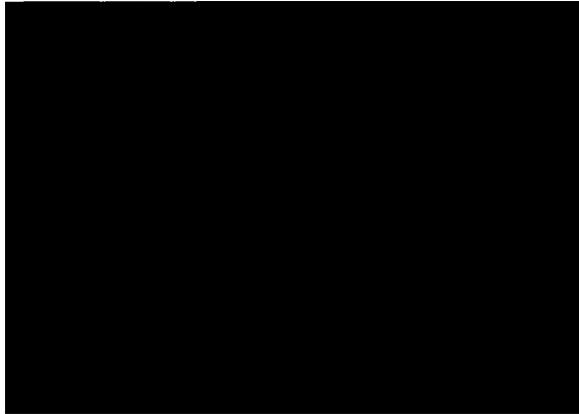


図2 ステップ1の単元選択画面

4. 教材の開発

開発には Macromedia Flash MX および Flash ActionScript を用いた。本教材は Macromedia Flash Player を搭載する全てのパソコン環境で動作する。

5. 教材の評価

まずプロトタイプとして、教材全5ステップのうち1ステップとそれに準ずるドリルを作成し評価を行った。最初に教材の動作チェックを行い、指摘された改善点を修正した。次に、主語や動詞など英語の基礎知識を確認するための前提テストに合格した大学生に対して1対1評価³⁾を行った。

続いてプロトタイプの評価で得られた教材への意見や改善点をもとに教材の全ての機能を開発し、プロトタイプの評価と同じ方法で評価を行った。事後テストで英文マップを作成する問題を出題したところ、英文マップを作成できるようになっていた事が分かった。また事後テスト後に大学生に行ったアンケートやインタビューからは、いくつか今後の改善の参考になる意見を得ることができた。

6. まとめと今後の課題

本研究では英文マップ作成法を学ぶ教材を作成し、教材の利用によって、英文マップ作成の知識・能力が身に付くかの評価を行った。

評価の結果、教材の使用によって使用者は英文マップ作成法を習得し、自分で英文マップを作成できる事が分かった。しかし教材利用者のアンケートおよびインタビューによって、教材に改善の必要がある事も分かった。

今後の課題としては、ドリルで出題される問題数を増やし、ドリル使用による学習効果をさらに高める事などが挙げられる。

参考文献

- 1) 神戸康弘(かんべやすひろ)著「どんな英文でもスラスラ読める! びっくり英読法」2000年 中京出版
- 2) NewsWeekJapanOnline(<http://www.nwj.ne.jp>) 2005年8月1日掲載 英訳記事「CUTE POWER(日本語が超カワイイ!)」
- 3) 鈴木克明著「教材設計マニュアル 独学を支援するために」2002年 北大路書房

図3 確認テスト画面